

日本工業大学

2024年度 募集要項

総合型選抜(課題実践型)

基幹工学部

機械工学科 / 電気電子通信工学科 / 応用化学科

先進工学部

ロボティクス学科 / 情報メディア工学科 / データサイエンス学科

建築学部

建築学科 建築コース / 生活環境デザインコース

日本工業大学 アドミッションポリシー／入学定員

日本工業大学は、「建学の精神・理念」に基づき、「確かな専門力と豊かな人間性を持ち、社会の発展に貢献し続ける実践的技術創造人材」を育成します。そのため、その基礎をなす以下に掲げる能力と意欲をもつ人を広く求めます。

【日本工業大学が求める人物像】

- (1) 工学に対して関心をもち、それを学ぶ意欲を有する人
- (2) 工学を学ぶための基礎的知識や技能を備え、それを活用するための能力を備えている人
- (3) 主体的に社会と係わり、より良い人生を送りたいという気持ちを有している人

基幹工学部

基幹工学部は、産業界の基幹となる機械、電気、化学の分野で求められる基礎的知識や技術を修得し、既存の技術を発展させ、付加価値の高い技術を創造する実践的能力を身につけた技術者を養成します。そのため、以下に掲げる能力や意欲を有する人を広く求めます。

【基幹工学部が求める人物像】

- (1) 産業界の基幹となる機械、電気、化学の分野に強い関心をもち、それらの分野で求められる基礎的知識や技術を修得する意欲を有している人
- (2) 既存の技術を発展させ、新たな価値を創造しようとする気概を有している人

機械工学科／170名

機械工学科は、幅広い機械工学の知識を有し、複雑な問題を技術的な視点から創造的に解決できるエンジニアを育成します。そのため、以下に掲げる能力や意欲を有する人を広く求めます。

【機械工学科が求める人物像】

- (1) 高等学校課程における十分な基礎学力を備えている人
- (2) 機械工学科に対して強い興味と感心を持ち、課題に取り組むことができる人
- (3) 健全な倫理観と社会的協調性を有している人

電気電子通信工学科／150名

電気電子通信工学科は、産業構造の変化や技術革新に対応できる柔軟な技術力を持ったエンジニアを育成します。そのため、以下に掲げる能力や意欲を有する人を広く求めます。

【電気電子通信工学科が求める人物像】

- (1) 高等学校課程における十分な基礎学力を備えている人
- (2) 電気電子通信工学の分野を職業にしたいという強い意志を持ち、その目標に向かって能動的に行動し、主体的に勉学に取り組むことができる人
- (3) 電気電子通信の分野に関するものづくりに興味を持ち、プログラミングや実験を行う意欲がある人
- (4) 向上心があり、自ら考え、倫理を持って自ら行動することができる人
- (5) 自分の考えを表現できるコミュニケーション能力を有している人

応用化学科／80名

応用化学科は、化学関連産業で活躍できる実践力と創造力を持ったエンジニアを育成します。そのため、以下に掲げる能力や意欲を有する人を広く求めます。

【応用化学科が求める人物像】

- (1) 高等学校課程における十分な基礎学力を備えている人
- (2) 化学を基盤とした自然科学・工学に対して、幅広い興味や好奇心を有している人
- (3) 化学を基盤とした自然科学・工学に対して、新しいことに挑戦する意欲がある人
- (4) 化学をはじめとする実験や実習に積極的に取り組むことができる人
- (5) 自分の考えを持ち、意見を述べることであり、他人の考えを柔軟に取り入れることができる人
- (6) ものごとを論理的に考えることができる人

先進工学部

先進工学部は、基礎的な知識や技術を修得し、科学技術の進歩や産業構造の変化等に対応する能力と、新たな価値観を創造する技術革新を創出する能力を身につけた実践的技術者を養成します。そのため、以下に掲げる能力や意欲を有する人を広く求めます。

【先進工学部が求める人物像】

- (1) 「ロボティクス」「情報メディア工学」「データサイエンス」分野に強い関心を持っている人
- (2) 工学の基礎となる技術・知識と科学技術の進歩や産業構造の変化への対応力を修得する意欲を有している人
- (3) 新たな価値観を創造する技術革新を創出しようとする気概に溢れている人

ロボティクス学科／100名

ロボティクス学科は、ロボット技術を中心として、自分の工学の専門性と自分以外の人が持っている他の複数の工学の専門性を組み替えて活用し、人類を幸せにする新しい技術を提案・実現できるクロスリンク型(H型)の技術者を育成します。そのため、以下に掲げる能力や意欲を有する人を広く求めます。

【ロボティクス学科が求める人物像】

- (1) 高等学校課程における十分な基礎学力を備えている人
- (2) 知的好奇心を持ち、新しいことに挑戦する意欲と、人類を幸せにする技術者になりたいという意志を有している人
- (3) 自ら考え行動できる人、特に幅広い学問領域の勉学に積極的に取り組むことができる人
- (4) 自分の考えを明解に表現できるとともに、他人の考えを聞き、理解することができる人

情報メディア工学科／120名

情報メディア工学科は、メディア情報システム分野やメディア表現分野において実践的な技能を有し、目まぐるしく変化する高度情報化社会で持続的に活躍できる高度技能技術者を育成します。そのため、以下に掲げる能力や意欲を有する人を広く求めます。

【情報メディア工学科が求める人物像】

- (1) 高等学校課程における十分な基礎学力を備えている人
- (2) メディア情報システムや、メディア表現技法を活かして社会に貢献できる技術者になりたいという意志を有している人
- (3) 幅広い学問領域に積極的に取り組む好奇心を有している人
- (4) 問題解決のために必要な手順を組み立てられる論理的思考を有している人

データサイエンス学科／120名

データサイエンス学科は、システム構築力とデータ分析のための専門知識と実践的スキルを有し、経済発展と社会的課題の解決を目指す人間中心の社会で活躍できるエンジニアの育成をめざします。そのため、以下に掲げる能力や意欲を有する人を広く求めます。

【データサイエンス学科が求める人物像】

- (1) 高等学校課程における十分な基礎学力を備えている人
- (2) 情報通信技術で社会に貢献できる技術者になりたいという意思を有している人
- (3) 幅広い学問領域に積極的に取り組む好奇心を有している人
- (4) 問題解決のために必要な手順を組み立てられる論理的思考を有している人

建築学部

建築学部は、社会の変化や技術の進歩に対応でき、新たな価値観による建築空間の創造を目指す専門家を養成します。そのため、以下に掲げる能力や意欲を有する人を広く求めます。

【建築学部が求める人物像】

- (1) 建築分野に強い関心を有している人
- (2) 建築学の知識と技術を修得するための基礎的な学力と意欲を有している人
- (3) より良い未来の空間を創造しようとする高い理想と志を持つ人

建築学科(建築コース・生活環境デザインコース)／250名

建築学科は、建築に関する高度な知識と技術、思考力、構想力によって未来の社会および文化を創造する実践的な専門家を育成します。そのため、以下に掲げる能力や意欲を有する人を広く求めます。

【建築学科が求める人物像】

- (1) 高等学校課程における十分な基礎学力を備えている人
- (2) 建築分野に興味を持ち、能動的に勉学に取り組むことができる人
- (3) 向上心があり、自ら考え、倫理を持って自ら行動することができる人
- (4) 他者の意見を聞き、自分の考えを明解に表現できるコミュニケーション能力を有している人

1. 総合型選抜（課題実践型）採用方式

工学への関心、工学を学ぶための基礎的知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性をもって協働して学ぶ姿勢を見る入試です。志望理由書、課題作品等、調査書および面接・プレゼンテーション等により評価します。この入試は併願が可能です。

2. 日程

	日 程
出 願 期 間	2023年9月14日(木)～10月6日(金) 必着 Web受付開始 2023年9月7日(木)
試験日時と試験会場	2023年10月15日(日) 10:00～ 埼玉キャンパス
合 格 発 表 日	2023年11月1日(水) 10:00

3. 募集学部・学科・コースおよび募集人員

総合型選抜（課題実践型）・（体験講義型）・（基礎学力型）の合計人数です。

学 部	学 科・コース	募 集 人 員
基幹工学部	機 械 工 学 科	18名
	電 気 電 子 通 信 工 学 科	16名
	応 用 化 学 科	7名
先進工学部	ロ ボ テ ィ ク ス 学 科	11名
	情 報 メ デ ィ ア 工 学 科	12名
	デ ー タ サ イ エ ン ス 学 科	12名
建 築 学 部	建 築 学 科 建 築 コ ー ス	22名
	建 築 学 科 生 活 環 境 デ ザ イン コ ー ス	4名

4. 出願資格

大学入学資格を持つ方（次の各項のいずれかに該当する方）。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した方、および2024年3月に卒業見込みの方。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方、および2024年3月に修了見込みの方（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した方を含む）。
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した方、またはこれに準ずる方で文部科学大臣の指定した方、および2024年3月31日までに修了見込みの方。
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方、および2024年3月31日までに修了見込みの方。
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方。
- (6) 文部科学大臣の指定した方。
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した方、および2024年3月31日までに合格見込みの方（旧規程による大学入学資格検定（以下「旧検定」という。）に合格した方を含む）。
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した方であって、本大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた方。
- (9) 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、18歳に達した方。

5. 選考方法

書類審査（調査書、志望理由書※）、課題、面接、プレゼンテーション

※ 志望理由書には、「高校生活の中で主体的に取り組んだ成果」の記載欄があります。

6. 課題

各学科・コースの課題は以下のとおりです。課題作成にあたっては、各学科・コースの作成上のルールに従って作成してください。

機械工学科	
作成上のルール	レポート作成には原稿用紙を使用し、文字数は800字以内とする。鉛筆を使用すること。原稿用紙は各自で用意すること。必ず、冒頭に出身高校、氏名を記入すること。
課題内容	身の回りの道具、機械、家具などから何か一つ選び、それを使用する際に生ずる可能性のある危険を想定し、その危険を回避するための装置を自分で考え、その装置について説明せよ。装置については、センサー、制御、機構などを含めること。

電気電子通信工学科	
作成上のルール	図も含めて、パソコンで作成して印刷したものとする。用紙は各自で用意すること。文字数に制限は設けない。必ず、冒頭に出身高校、氏名を記入すること。
課題内容	下記からテーマを選びレポートを作成せよ。 ① 電気電子通信工学分野に関連した未来の製品、装置、またはサービスを一つ考案し、それがもたらす効果などを含めた特徴、及びソフトウェアとハードウェアの機能分担について具体的に説明せよ。 ② 二次電池の種類について調べ、その原理と長所や短所を説明せよ。また、理想的な二次電池に要求される条件や性能、または使用方法などを説明せよ。 ③ 一辺が抵抗 R の立方体を考える。この立方体の対角から見た合成抵抗を求める。この場合の合成抵抗の求め方について、各辺の電流分布などを含めて詳しく説明せよ。 ④ 家庭用交流電源に、最大振幅1(V)の小電圧信号が重畳されている。この小電圧信号を観察する方法について考察せよ。 ⑤ 導線の抵抗を測定する場合、電圧計や電流計などの測定器の接触抵抗の影響を受けるが、この影響を小さくする測定方法について考察せよ。

応用化学科	
作成上のルール	書式は、原稿用紙やレポート用紙への手書き、もしくはパソコンで作成して印刷したものでもよい。用紙は各自で用意すること。文字数は800文字以内とする。必ず、冒頭に出身高校、氏名を記入すること。
課題内容	以下の項目のうち興味あるもの一つを選び、その項目について調べたこと、および自分が将来どのように関わっていけるか考えたことを述べよ。 ① 気候変動の問題と対策 ② 資源・エネルギーの問題と対策 ③ 海洋プラスチックの問題と対策 ④ 人々の豊かで健やかな生活に貢献する化成品や医薬品 ⑤ バイオテクノロジー（生物工学）の歴史と未来

ロボティクス学科	
作成上のルール	提出書類の冒頭には、必ず、高等学校名と氏名を明記すること。
課題内容	<p>【課題1】または【課題2】のいずれかを選択する。</p> <p>【課題1】</p> <p>電動モーターを使って動作するモノを製作すること。提出物は以下の(1)および(2)とする。</p> <p>(1) 以下の事項をすべて含め、A4サイズ縦、自由書式にて整理した書類（2ページ以内）。この書類はパソコンで作成し、プリンターで印刷したものとする。手書きは認めない。</p> <p>(a) 何を目的として動作するモノか</p> <p>(b) どのように動作するモノか</p> <p>(c) オリジナルで製作した場合、どのような点を工夫したか、あるいは、市販品を改良した場合、どの部分に自分独自のアイデアを付加したか</p> <p>(2) 製作したモノの特徴を表す写真4枚以上を、A4サイズ縦に貼付した書類（2ページ以内）。この書類はパソコンで作成し、プリンターで印刷したものとする。写真を説明する文章を付け加えること。</p> <p>【課題2】</p> <p>ロボットに関して興味ある事柄を1つ以上挙げ、それについて詳しく説明し、その事柄に対して今後どのような技術が求められるか自分の考えを記述すること。文字数は400字以上800字以内とする。パソコンで作成してA4サイズの用紙に印刷すること。</p>

情報メディア工学科	
作成上のルール	基本的に細かいルールは一切ない。自由にレポートして構わないが、どのように書けば、他者より評価されるかを自分で考えて記述すること。必ず、冒頭に出身高校、氏名を記入すること。
課題内容	バブルソートの仕組みについて、他のソートと比較してその利点と欠点をレポートせよ。

データサイエンス学科	
作成上のルール	書式に関する細かい指定はない。必ず、冒頭に出身高校、氏名を記入すること。
課題内容	<p>日常生活に関するテーマを選び、そのテーマについてデータに基づいて考察し、レポートとしてまとめよ。具体的には、選択したテーマに関するデータを収集し、そのデータからそのテーマについて分かること、考えられることをまとめること。さらに、データを調べてわかったことをどのように応用できるかについても考察すること。データは自分で収集することが望ましいが、他者が収集したデータを利用してもよい。いずれの場合でも、データをどのようにして取得したのかを明記すること。</p> <p>参考までに以下に一例を挙げる</p> <p>テーマ:電車の遅延</p> <p>データ:実際に通学する際の遅延を記録</p> <p>調べる内容:遅延時間と時間帯、曜日との関係</p>

建築学科 建築コース	
作成上のルール	<p>「〇〇から考える家」の「〇〇」に入れる用語を、指定されたテーマの中から一つ選択し、そのテーマについての調査結果をまとめること。その上で、「〇〇から考える家」の具体的な提案を行うこと。提案をまとめる際には、自分で3つ重視した点を定め、その3つの点それぞれについてわかりやすい見出しをつけた上で、視覚的表現（模型写真、設計図、スケッチなど）と説明文により解説すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果と提案を、A3用紙3枚程度のレポートとして提出すること。 ・冒頭に出身高校、氏名を記入すること。 ・写真や図、表などを用いる場合は、自ら撮影、作成したものに限りこと。 ・参考とした資料や文献については、基本情報（著者や運営者、書籍やWebページの名称、出版社等、出版年月・閲覧年月日、URL）を必ず明示し、文章などを引用した場合はその旨を明記すること。 <p>なお、これまでに日本工業大学建築設計競技といった建築設計競技などで入賞したことがある方は、その作品を提出することで、課題の代わりとすることができる（テーマはこの課題に関連していなくてもよい）。該当者は以下のものを、出願書類として同封すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賞状など、入賞したことが分かる書類の写し ・作品の写し（作品を撮影した写真をA3用紙にプリントアウトしたもの）
課題内容	<p>「〇〇から考える家」 選択テーマ：「減災」「趣味」「階段」</p>

建築学科 生活環境デザインコース	
作成上のルール	<p>「〇〇から考える家」の「〇〇」に入れる用語を、指定されたテーマの中から一つ選択し、そのテーマについての調査結果をまとめること。その上で、「〇〇から考える家」の具体的な提案を行うこと。提案をまとめる際には、自分で3つ重視した点を定め、その3つの点それぞれについてわかりやすい見出しをつけた上で、視覚的表現（模型写真、設計図、スケッチなど）と説明文により解説すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果と提案を、A3用紙3枚程度のレポートとして提出すること。 ・冒頭に出身高校、氏名を記入すること。 ・写真や図、表などを用いる場合は、自ら撮影、作成したものに限りこと。 ・参考とした資料や文献については、基本情報（著者や運営者、書籍やWebページの名称、出版社等、出版年月・閲覧年月日、URL）を必ず明示し、文章などを引用した場合はその旨を明記すること。 <p>なお、これまでに日本工業大学建築設計競技といった建築設計競技などで入賞したことがある方は、その作品を提出することで、課題の代わりとすることができる（テーマはこの課題に関連していなくてもよい）。該当者は以下のものを、出願書類として同封すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賞状など、入賞したことが分かる書類の写し ・作品の写し（作品を撮影した写真をA3用紙にプリントアウトしたもの）
課題内容	<p>「〇〇から考える家」 選択テーマ：「中庭」「光」「福祉」</p>

7. プレゼンテーションの内容

面接時間分の中で、5分程度のプレゼンテーション後、プレゼンテーションに対して質疑・応答があります。

プレゼンテーションに必要な資料（パワーポイントのスライドページを印刷したもの、写真など）は、面接室への持ち込みを許可します。ノートパソコンやタブレット、学科・コースによっては制作物などを持参して使用しても構いませんが、その動作については自己責任となります。プロジェクターやスクリーン、電源の貸出は行いません。

各学科・コースによるプレゼンテーションの内容は以下のとおりです。各学科・コースで指示がある場合は、その指示に従ってください。なお、提出した課題については、原則、返却しません。

機械工学科	
プレゼンテーションの内容	課題について プレゼンテーションでは以下のポイントを順番に説明すること。 1. 目的や背景（装置の必要性やその背景、装置や果たす役割など） 2. 原理（装置の動作原理や機構など。必要な物理や数学を用いて説明して良い） 3. まとめ（装置の特長や使用することで得られる効果などを結論づける）

電気電子通信工学科	
プレゼンテーションの内容	課題について 「課題」で作成したレポートの内容を他者にわかりやすく説明するプレゼンテーションを準備してください。また、課題に対する発表者の理解度や関連知識などをチェックする質疑応答があります。

応用化学科	
プレゼンテーションの内容	課題について

ロボティクス学科	
プレゼンテーションの内容	課題内容について プレゼンテーションの方法は、受験者の任意の形式とする（例：口頭のみ、パソコンを用いて説明する等）。 以下の物を必ず持参すること。 【課題1】を選択した場合 (1) 製作物一式（機体と説明書類） (2) パソコン（パソコンでプレゼンテーションする場合） 【課題2】を選択した場合 (1) 作成した課題（文書）のコピー (2) パソコン（パソコンでプレゼンテーションする場合）

情報メディア工学科	
プレゼンテーションの内容	課題について こちらが準備したカードを使用し、指定したソートの手順を実演すること。 課題について、十分理解を深めておくこと。 持参したPCや資料等の使用はできません。

データサイエンス学科	
プレゼンテーションの内容	<p>課題について</p> <p>課題のレポートの内容について口頭で説明すること。説明のための資料を用意し、当日持参すること。パソコンなどの機材は用いず、持参した資料だけを用いて説明すること。</p>

建築学科 建築コース	
プレゼンテーションの内容	<p>課題について</p> <p>作成したレポートを基に、以下の内容を必要に応じて追加し、プレゼンテーションすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案する家の所在地や周辺的环境 ・提案する家の住み手について設定した事項 ・その他、工夫して提案した事項など <p>プレゼンテーションは持参した資料で行う。資料は、視覚的表現と説明文を分かりやすくレイアウトすること。視覚的表現の方法は、模型写真、設計図、スケッチ、写真、図解などとし、模型を制作した場合は持参すること。</p> <p>資料は、プレゼンテーション後に提出となる。</p> <p>なお、これまでに日本工業大学建築設計競技といった建築設計競技などで入賞したことがある者は、その作品を提出することで、審査の資料の代わりとすることができる（テーマはこの課題に関連していなくてもよい）。該当者は以下のものを持参し、作品についてプレゼンテーションすること。賞状と作品の現物は返却する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賞状など、入賞したことが分かる書類 ・作品（模型があれば模型も持参すること）

建築学科 生活環境デザインコース	
プレゼンテーションの内容	<p>課題について</p> <p>作成したレポートを基に、以下の内容を必要に応じて追加し、プレゼンテーションすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案する家の所在地や周辺的环境 ・提案する家の住み手について設定した事項 ・その他、工夫して提案した事項など <p>プレゼンテーションは持参した資料で行う。資料は、視覚的表現と説明文を分かりやすくレイアウトすること。視覚的表現の方法は、模型写真、設計図、スケッチ、写真、図解などとし、模型を制作した場合は持参すること。</p> <p>資料は、プレゼンテーション後に提出となる。</p> <p>なお、これまでに日本工業大学建築設計競技といった建築設計競技などで入賞したことがある者は、その作品を提出することで、審査の資料の代わりとすることができる（テーマはこの課題に関連していなくてもよい）。該当者は以下のものを持参し、作品についてプレゼンテーションすること。賞状と作品の現物は返却する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賞状など、入賞したことが分かる書類 ・作品（模型があれば模型も持参すること）

8. 選考基準

1. 工学・科学技術への関心・意欲
2. 基礎的知識・技能、思考力・判断力・表現力
3. 主体性をもって協働して学ぶ姿勢

9. 奨学金制度

優秀な成績で合格した方には、入試奨学金20万円が給付されます。

10. 出願方法

パソコン・スマートフォン・タブレットでインターネット出願サイトに登録（メールアドレス必須）、プリンターで印刷し、書類を郵送して出願します。

インターネット出願の手順：<https://x.gd/JkPbe>



インターネット出願サイト：<https://www.eraku-p.jp/erp/nit/>



を参照してください。

出願する場合は、以下のとおり検定料を納付し、出願書類を提出してください。

1. 入学検定料 30,000円

入学検定料は、コンビニエンスストア、ペイジーATM、クレジットカードのいずれかでお支払いください。入学検定料の他に事務手数料（990円（税込））が必要です。なお、納付された検定料は返還しません。

【卒業生子女優遇制度について】

本学卒業生の子女の方が、本学の入試を受験する場合には、後日、入学検定料の一定額を助成します。（申請には期限があります。）出願にあたっては入学検定料をお振込みください。詳細は、日本工業大学工友会事務局へお問い合わせください。Tel: 0480-33-7509（直通）／E-mail: koyukai@nit.ac.jp

【災害被災者に対する入学検定料の免除措置について】

右記の本学ホームページを参照してください。https://www.nit.ac.jp/nyushi/pdf/2024_menjyo.pdf



2. 出願書類

インターネット出願サイトのマイページから印刷した「宛名ラベル」を市販の「角2封筒」に貼り付け出願書類を同封し、郵便局の窓口から「速達」の「簡易書留」で郵送してください。締切日必着とします。なお、提出された出願書類は原則として返却しません（学科・コースから指示のあったものは返却します）。

- ① 入学願書 支払い完了をシステムが確認すると、「入学願書」が印刷できるようになります。
- ② 出身学校の調査書 **最近3ヶ月以内に発行され、厳封されたものに限りです。**
被災などの事情によって調査書が得られない場合は、「成績証明書」または「単位修得証明書」等を提出してください。これらの証明書等が提出できない場合は、出身学校長からの「調査書の発行が不可能である旨の文書」を提出してください。
- ③ 志望理由書 指定書式をダウンロードしてください。
PDFファイルをダウンロードした場合は、印刷し、自筆で記入してください。
Wordファイルをダウンロードした場合は、直接入力したものを印刷してください。
- ④ 課題 各学科・コースの課題（p.3～p.5）を参照し、作成してください。

11. 受験票の発行・印刷について

2023年10月10日(火)に「受験票印刷可能」メールを送信します。メールが届かない場合はマイページで確認し、発行・印刷できない場合は入試課(TEL:0120-250-267)まで連絡してください。

12. 受験上の注意

- 集合時刻 受験票に記載されている試験開始時刻の30分前までに集合してください(時間厳守)。
集合場所 5号館1階アカデミックリビング
持参するもの 受験票、筆記用具、各学科・コースで指示があった場合はその成果物、プレゼンテーションに必要な資料
交通案内 本学ホームページを確認してください。スクールバスは受験票を呈示すれば当日無料です。

13. 身体に障がいのある方の出願について

受験に際し、疾病・負傷や身体障がい等のために、特別な措置を希望する方は、「受験相談申請書」(本学所定の書式)を取り寄せて、出願時まで申請してください。結果については、後日お知らせします。申請の際は、下記の資料を添付してください。

- ・医師の診断書または身体障害者手帳(コピー可)

連絡先および提出先 : 日本工業大学 入試部入試課
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
TEL:0120-250-267 FAX:0480-33-7678

14. 個人情報の取扱について

出願を通して収集した住所、氏名等の個人情報は、入学試験実施、合格発表、入学手続、本学(本学関係者を含む)からの入学に関する資料の発送や、統計的集計、入学後の学修指導、これらに付随する業務に関してのみ使用し、他の目的には一切使用しません。また、個人情報の漏洩・流出等がないよう厳重に管理します。

15. 合格発表

発表期間	2023年11月1日(水)10:00 ~11月7日(火)23:59
------	-----------------------------------

1. 本人だけでなく、進路指導部を通じて、高等学校長にも文書で通知します。あらかじめご了承ください。
2. 合否についての電話等による問い合わせには一切応じません。
3. インターネット出願の「インターネットによる合否照会方法」を確認してください。
合格者には合格通知書が発行されます。合格通知書は、合否発表開始日の10:00から印刷できます。

16. 入学手続締切日

詳細は、入学の手引きを参照してください。

入学手続締切日	入学申込金の納入 2023年11月9日(木)	入学手続書類の提出 2023年11月22日(水)	春学期の学費等の納入 2023年12月21日(木)
---------	---------------------------	-----------------------------	------------------------------

入学手続書類は、合格発表日の翌日に発送します。

- ① 入学手続時納付金は、合格通知書とともに印刷される振込依頼書でお支払いください。
- ② 期日までに入学手続が完了しない場合は、入学資格を失います。

17. 入学手続書類について

入学金および春学期の学費等の納入の他に、以下の手続を行ってください。

- ① 学 籍 簿 本学より郵送する用紙に必要事項を記入してください。
- ② 住 民 票 本人の氏名・生年月日・現住所・本籍地を記載したもの。
日本国籍以外の方は、在留資格、在留期間を記載のこと。
住民票記載事項証明書でも可。
マイナンバーは記載しないでください。
- ③ 写 真 1 枚 写真1枚（最近3ヶ月以内に撮影した、上半身・正面・無帽のもの。
たて4cm×よこ3cm。）を用意し、裏面に受験番号と氏名を油性サインペンで明記して
ください。学籍簿に貼り、提出してください。
- ④ 合格者調査票 インターネット出願サイトの「マイページ」より、登録してください。

18. 「令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知」を受け取った方

独立行政法人 日本学生支援機構から「令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知」を受け取り、**給付奨学金の候補者に決定した方は**、入試課（TEL：0120-250-267）まで連絡してください。ただし、本学に入学される方に限ります。

19. 入学金・学費等（全学部・学科・コース共通）

2024年度春季入学者の1年目の入学金と学費等は、下表のとおりです。

【表1】20万円（入試奨学金）が免除される方

（単位：円）

納入区分		入学時納付金		秋学期学費等	合計（年額）
		入学金の納入	春学期の学費等の納入	秋学期分納入額	
入学金・学費	入 学 金	224,000	—	—	224,000
	授 業 料	—	490,000	490,000	980,000
	施設設備拡充費	—	126,000	126,000	252,000
	実験研究費	—	55,500	55,500	111,000
	小 計 ①	224,000	671,500	671,500	1,567,000
	免除額（20万円）	—	-100,000	-100,000	-200,000
	小 計 ②	224,000	571,500	571,500	1,367,000
委託会費等	後援会入会金	—	1,000	—	1,000
	後援会会費	—	10,000	10,000	20,000
	後援会特別会費	—	5,000	5,000	10,000
	学生自治会会費	—	5,000	5,000	10,000
	傷害保険料	—	2,230	—	2,230
	工友会（同窓会）会費	—	3,750	3,750	7,500
	小 計 ③	—	26,980	23,750	50,730
合 計（②+③）		224,000	598,480	595,250	1,417,730

【表2】奨学金なしの方

（単位：円）

納入区分		入学時納付金		秋学期学費等	合計（年額）
		入学金の納入	春学期の学費等の納入	秋学期分納入額	
入学金・学費	入 学 金	224,000	—	—	224,000
	授 業 料	—	490,000	490,000	980,000
	施設設備拡充費	—	126,000	126,000	252,000
	実験研究費	—	55,500	55,500	111,000
	小 計 ①	224,000	671,500	671,500	1,567,000
委託会費等	後援会入会金	—	1,000	—	1,000
	後援会会費	—	10,000	10,000	20,000
	後援会特別会費	—	5,000	5,000	10,000
	学生自治会会費	—	5,000	5,000	10,000
	傷害保険料	—	2,230	—	2,230
	工友会（同窓会）会費	—	3,750	3,750	7,500
	小 計 ②	—	26,980	23,750	50,730
合 計（①+②）		224,000	698,480	695,250	1,617,730

【備考】

- 学費等は、分割納入（春学期分、秋学期分の年2回納入）となります。
- 入学金（入学申込金）は、入学初年度のみ徴収します。入学金（入学申込金）は理由の如何を問わず返還しません。
- 2年目以降、施設設備拡充費は300,000円（年額）、実験研究費は120,000円（年額）となります。
- 授業料、施設設備拡充費、実験研究費は、年2回に分けて徴収します。
- 委託会費等（後援会入会金、傷害保険料を除く）は、年2回に分けて徴収します。
- 後援会入会金は、入学初年度のみ徴収します。
- 傷害保険料（学生教育研究災害傷害保険、学生団体傷害総合保険）は、毎年度の初めに徴収します。
保険の詳細については、<https://www.nit.ac.jp/campuslife/support/injury> を参照してください。
- 工友会（同窓会）会費は、基本会費30,000円を分割して徴収します。（基本会費30,000円÷4年間=7,500円/年）

9. 委託会費等は、2025年度以降変更する場合があります。
10. 秋学期学費等納入書は、2024年9月中旬に送付します。
11. 奨学金は学費に充当する形で給付します。

日本工業大学育英資金について

在学中に経済的事情により学費等の支払いに困難をきたした学生のため、任意による育英資金を入学後に募集する予定です（入学前の募集はしていません）。

20. 学費等の延納制度について

この入試の合格者で、他大学との併願受験を検討している方は、以下の手続きを行ってください。ただし、延納を認めるのは、入学金（入学申込金）を納入し、他大学を併願受験する場合に限り、それ以外の理由によるものは認めません。

春学期学費等を納入する期日となる「延納希望日」は、併願受験大学の合格発表日の翌日（翌日が土・日・祝日の場合は翌金融機関営業日）となります。

ただし、併願受験大学の合格発表日が2024年3月11日（月）以降の場合は2024年3月11日（月）とします。

（例①）併願大学の合格発表日：2024年3月 1日（金）→延納希望日は2024年3月 4日（月）

（例②）併願大学の合格発表日：2024年3月 18日（月）→延納希望日は2024年3月 11日（月）

詳細については、入学の手引きをご確認ください。

21. ノートパソコン必携について

本学では、授業等においてレポートや論文作成など、多くの機会でもパソコンを活用するとともに、授業の履修登録、授業資料の取得、成績閲覧等、様々な場面でパソコンを使用することとなりますので、ノートパソコンを必携としています。

詳細については、入学手続書類送付の際にご案内する予定です。

交通案内

ACCESS

埼玉キャンパス
〒345-8501
埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1

【最寄り駅】

- ・東武動物公園駅
- ・JR新白岡駅

【1】東武動物公園駅

- ・東武スカイツリーライン(伊勢崎線)
- ・日光線、東京メトロ日比谷線
- ・半蔵門線直通

「東武動物公園」駅下車

「東武動物公園」駅西口より、
スクールバス乗車5分、または徒歩14分

【2】JR 新白岡駅

JR宇都宮線(東北本線)・湘南新宿ライン

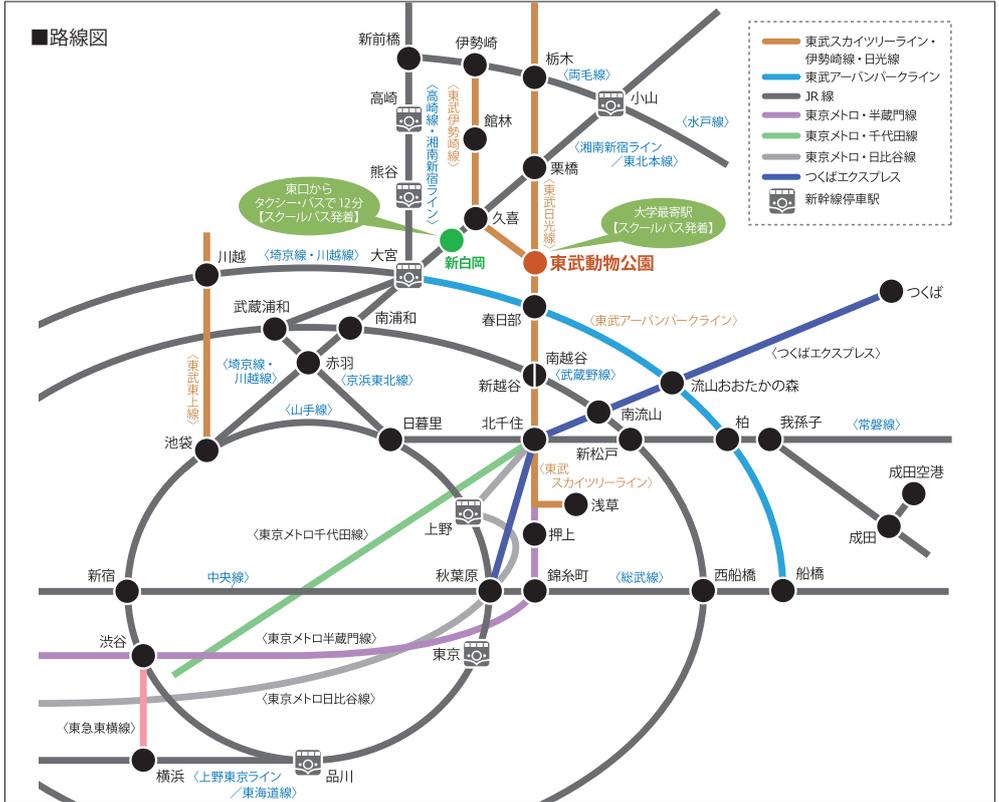
「新白岡」駅下車

「新白岡」駅東口よりスクールバス乗車12分

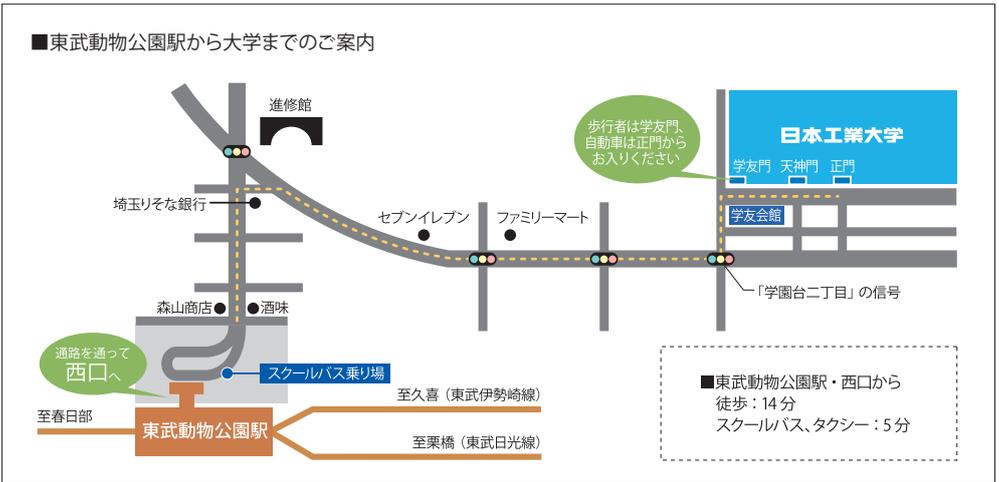
■駐車場および駐輪場について

各選抜当日は大学の駐車場および
駐輪場をご利用いただけます。
正門よりお入りください。

■路線図



■東武動物公園駅から大学までのご案内



■東武動物公園駅・西口から
徒歩：14分
スクールバス、タクシー：5分

■スクールバス乗り場案内

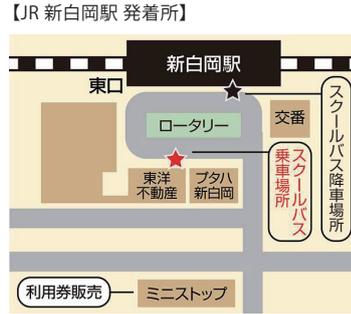
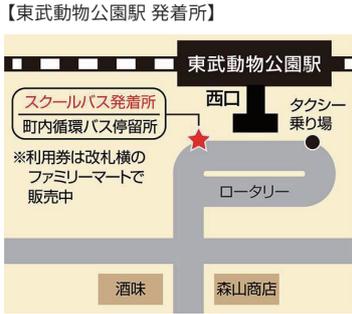
時刻表は大学ホームページのスクールバス運行情報ページをご確認ください。
下記のQRコードからもご覧いただけます。

※各選抜の受験生は、当日スクールバスを無料でご利用いただけます。

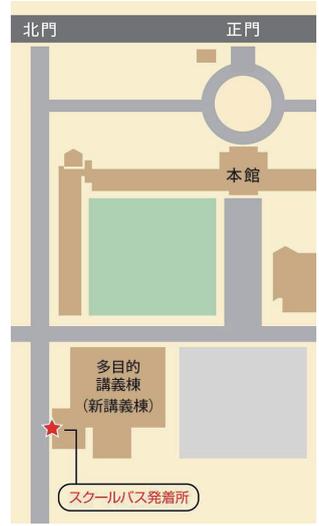
スクールバス運行情報ページ



スクールバスの運行に関する
お問い合わせ
NITクリエイティブ (TEL:0480-32-2541)



【埼玉キャンパス 発着所】



出願および入学者選抜試験に関するお問い合わせ先

日本工業大学 入試部入試課

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1

TEL:0120-250-267

FAX:0480-33-7678

Email:nyu-shi@nit.ac.jp



日本工業大学
NIPPON INSTITUTE OF TECHNOLOGY